



道ノ駅もがみ感謝祭が開催されました

6月6日、道の駅もがみにおいて、感謝祭が開催されました。道の駅もがみは、令和5年にオープンし今年で3年目を迎えます。山形県の東の玄関口として、町の魅力を発信する等、多くの役割を果たしています。

イベントには県内外から多くの方々が来場し、くじ引き抽選会が賑わいを見せていました。県外から訪れた方は、何度も来ていて今回のようなイベントをもっと沢山やってほしいなどと話す方もいました。

ベストを目指して駆け抜ける 最上町ロードレース大会

6月7日、最上西公園特設コースを会場に「2026最上町ロードレース大会」が開催されました。参加者は町内外から合わせて108名。また、大会には県縦断駅伝 新庄・最上チームの板垣 新一監督や、奥山 智広選手、野口 颯選手、菅 一生選手ら最上町出身のランナーがペースメーカーをつとめ、たいへん盛り上がりました。沿道からのたくさんのご声援、ありがとうございました。



人権の花運動 小中学校で花の植栽

最上町人権擁護推進協議会では、毎年、生徒や児童と協力して花を植栽しています。育てることを通じて、命の大切さや相手への思いやる気持ち、また、「基本的人権を尊重する精神」を身につけてもらうことを目的として、『人権の花』運動を実施しています。

今年度も、町内の小中学校において、合わせて420本の『人権の花』が植えられ、各学校の玄関前などに飾られました。

花でつながる赤倉温泉をめざして

赤倉温泉町内会では、町内会の各組織（公民館、産直ゆけむり、振興対策協議会、振興会、商工会、観光協会等）が一丸となって、赤倉菖蒲園を「赤倉温泉 Flower link 園」にリニューアルし、にぎわい・憩いのエリアとする景観づくりに取り組んでいます。

5月17日から本格的な作業が始まり、重機での菖蒲の掘り起こしと施肥・耕うん、菖蒲の株分けと植え付け、31日には、ローズマリーやサルビア、マリーゴールド等の花苗800本の定植作業が行われました。この間、延べ80名余りの皆さんの協力を得て、1年目の計画は順調に進んでいます。



まちトピ town topic

第70回山形県縦断駅伝 新庄最上チーム 2年連続6位入賞

沿道からのご声援、ありがとうございました！

大会結果（総合順位）

優勝：山形	16：06：51	6位：新庄最上
2位：南陽東置賜	16：13：09	16：46：18
3位：天童東村山	16：27：46	



2日目14区（尾花沢～村山）を力走する奥山選手

4月27日から29日にかけて開催された第70回山形県縦断駅伝競走大会において、町出身の3選手がチームの一員として力走し、2年連続となる総合6位入賞に貢献しました。

出場したのは、初日1区と2日目12区を走った野口颯選手、初日8区と2日目14区を走った奥山智広選手、初日7区と2日目19区を走った菅一生選手の3人。それぞれが託された区間で懸命な走りを見せ、チームのたすきをつなぎました。

中でも奥山選手が担当した初日8区と2日目14区は、大会区間の中でも特に距離が長く、8区は全区間で最長の20.2キロ、14区は18.1キロで2番目に長い区間として知られています。厳しい区間でも粘り強い走りを見せ、チームを支えました。

奥山選手は「今大会では長い距離の区間を任せてもらいました。実力をすべて出し切れたわけではありませんが、2年連続で6位入賞に貢献できてよかったです。沿道やさまざまな場面で応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。」と大会を振り返りました。

選手たちは、多くの声援に支えられながら3日間の大会を走り抜きました。今後も町民の応援を力に、さらなる飛躍が期待されます。



最上中学校でもがみ南部商工会 青年部の皆さんが奉仕活動

6月1日、もがみ南部商工会青年部の皆さんが、最上中学校で奉仕活動を行いました。この活動は、商工会青年部全国統一事業「絆」感謝運動として毎年行われているものです。今年の活動では中学校敷地内の花壇整備を行いました。ボランティア活動にご協力いただいた、商工会青年部の皆さん、ありがとうございました。



ワイルドエドベンチャースクールで 大場満郎さんと自然を満喫

6月6日、放課後子ども教室「ワイルドエドベンチャースクール」で、田植え体験&トレッキングが行われました。この活動は冒険家の大場満郎さんが、子どもたちに自然の大切さや魅力を感じてもらおうと企画したものです。田植えに挑戦した後、山刀伐峠の山道をゆっくり登りながら季節の草花や生き物を観察しました。子どもたちは地域の方々から田植えの方法や山の知識を教わりながら、自然を体験する貴重な時間を過ごしていました。